（別紙）

平成２５年度　農林水産省農作物農林認定品種特性一覧

作物名	認定番号	品種名	申請機関(主となる育成機関)	主要特性
水稲	水稲農林糯４４５号	きたふくもち	（地独）北海道立総合研究機構上川農業試験場	・もち生地硬化性が「しろくまもち」より高い。 ・早生で穂ばらみ期耐冷性と開花期耐冷性が“極強”と強い。 ・「しろくまもち」より多収で「はくちょうもち」よりやや多収。
水稲	水稲農林４４６号	みずほの輝き	(独)農研機構中央農業総合研究センター	・粒が大きく炊飯米の外観が良く、「コシヒカリ」並の極良食味である。 ・冷めてもおいしく、弁当やおにぎり等に適する。
水稲	水稲農林４４７号	モグモグあおば	(独)農研機構九州沖縄農業研究センター	・地上部全重及び粗玄米収量が高く多収。 ・稲発酵粗飼料（稲 WCS）及び飼料用米用途に適する。
小麦	小麦農林１７６号	ゆめきらり	長野県農業試験場	・うどん等に適する中間質小麦である。 ・コムギ縞萎縮病、コムギ萎縮病抵抗性が優れる。 ・「シラネコムギ」より早熟で、穂発芽性に優れる。 ・製粉歩留、ミリングスコアが高い。
ばれいしょ	ばれいしょ農林６４号	リラチップ	（地独）北海道立総合研究機構北見農業試験場	・長期貯蔵後のポテトチップ加工適性が優れる。 ・「スノーデン」より枯ちょう期が早く、やや多収である。 ・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。
そば	そば農林８号	長野Ｓ８号	長野県野菜花き試験場	・丸抜きとそば粉の色は「信濃１号」より緑色が濃い。 ・そば切りの食味官能評価は「信濃１号」より優れ、特に色の評価に優れる。
てんさい	てんさい農林交２２号	アマホマレ	（独）農研機構北海道農業研究センター	・根中糖分が高く、製糖品質が優れる。 ・褐斑病抵抗性が優れる。
さとうきび	さとうきび農林３２号	KTn03-54	（独）農研機構九州沖縄農業研究センター	・甘蔗糖度、純糖率が高く、可製糖量が多い。 ・太茎で一茎重が大きい。 ・脱葉性が良く、作業性に優れる。 ・早期高糖で早期収穫に適する。

（参考）平成 25 年度農林水産省農林認定品種の特性概要

《農林認定》　　水稲「きたふくもち」

１．育成機関
地方独立行政法人北海道立総合研究機構
農業研究本部上川農業試験場研究部水稲グループ

２．来歴
育成期間：平成 17 年～ 25 年　（9 年間）
交 配 親：上系糯 04240 ×上育糯 451 号（しろくまもち）
旧系統名：上育糯 464 号

３．主要特性
・もち生地硬化性が「しろくまもち」より高い。
・早生で穂ばらみ期耐冷性と開花期耐冷性が“極強”と強い。
・「しろくまもち」より多収で「はくちょうもち」よりやや多収である。
・「きたふくもち」の名称の由来は、北海道で育ったおいしいもちを食べると、福がくるようにという願いを込めた。

（１）生育特性
・出穂期は「はくちょうもち」より早く、「しろくまもち」より遅い“早生の中”である。成熟期は「しろくまもち」、「はくちょうもち」より遅い“早生の晩”である。
・収量は「しろくまもち」より多く、「はくちょうもち」よりやや多い。
・穂ばらみ期耐冷性および開花期耐冷性は“極強”である。

（２）品質特性
・もちの硬化性は「はくちょうもち」、「しろくまもち」より高い。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北海道
普及見込み：北海道で奨励品種に採用
（普及見込み面積　1,600 ha）

６．品種登録出願状況
平成 25 年 8 月 6 日　出願
平成 25 年 10 月 31 日　名称変更
平成 25 年　月　日　出願公表

７．予算区分
新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業

系譜図

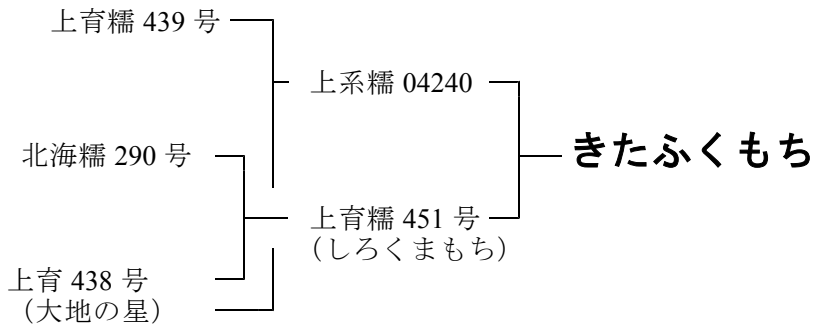


表１　生育特性

（育成地　平成 22 ～ 24 年）

品種名又は系統名	出穂期（月.日）	成熟期（月.日）	精玄米重（kg/a）	耐冷性 穂ばらみ期	耐冷性 開花期
きたふくもち	7.19	9.7	56.2	極強	極強
しろくまもち	7.18	9.4	54.5	極強	強
はくちょうもち	7.23	9.5	53.1	強	中

表２　品質特性

（育成地　平成 22 ～ 24 年）

品種名又は系統名	蛋白質含有率	硬化性 曲がり法	硬化性 もち生地硬さ	食味 つきもち
きたふくもち	5.4	0.36	1,298	0.28
しろくまもち	5.9	0.72	1,084	0.27
はくちょうもち	6.2	1.44	767	0.00

２枚目：写真

草　　姿

（左：「きたふくもち」、中央「しろくまもち」、右：「はくちょうもち」）

籾　及　び　玄　米

（左：「きたふくもち」、中央「しろくまもち」、右：「はくちょうもち」）

《農林認定》　　水稲「みずほの輝き」

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
中央農業総合研究センター作物開発研究領域

２．来歴
育成期間：平成 8 年～ 19 年　（12 年間）
交 配 親：北陸 174 号×中部 98 号
旧系統名：北陸 200 号

３．主要特性
・粒が大きく炊飯米の外観が良く、「コシヒカリ」並の極良食味である。
・冷めてもおいしく、弁当やおにぎり等に適する。
・秋に黄金色に光る穂をイメージして命名した。

４．特性概要
（１）生育特性
・出穂期、成熟期は「日本晴」よりやや早く、育成地（新潟県上越市）では“晩生の晩”に属する。
・千粒重は「日本晴」よりやや重く、「日本晴」よりやや多収である。
・いもち病抵抗性は、葉いもち、穂いもちとも“やや強”である。

（２）品質特性
・玄米品質は、「日本晴」と同等である。
・食味は、炊飯 30 分以内では外観が良好で、総合で「コシヒカリ」並、冷飯では総合で「コシヒカリ」と同等以上である。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北陸以西地域
普及見込み：許諾件数 8 件（新潟県、福島県、埼玉県、京都府等）。
　新潟県、長野県で産地品種銘柄に設定。
　新潟県上越地域では約 400ha の作付（平成 25 年度）。

６．品種登録出願状況
平成 20 年 5 月 14 日　出願（平成 20 年 8 月 5 日　出願公表）
平成 23 年 3 月 15 日　登録

７．予算区分
事業名：加工プロ 4 系
課題名：新規調理用および加工用多収水稲品種の育成

系譜図

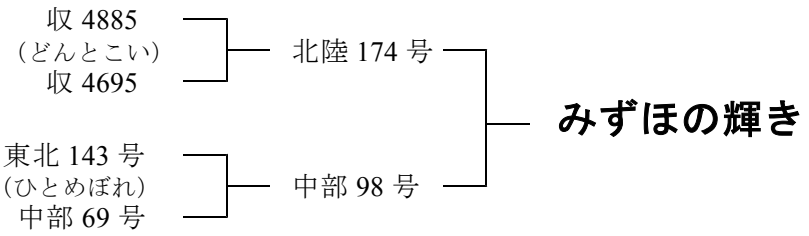


表１　生育特性
（育成地　平成12～19年度）

品種名	出穂期 (月.日)	成熟期 (月.日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m^2)	精玄米重 (kg/a)	千粒重 (g)
みずほの輝き	8.13	9.25	77	18.4	350	62.9	24.9
日本晴	8.15	9.26	77	20.1	361	61.0	23.5
コシヒカリ	8.05	9.15	92	19.3	369	62.9	22.6

品種名	耐倒伏性	いもち病抵抗性			障害型耐冷性	穂発芽性	高温耐性
		真性	葉いもち	穂いもち			
みずほの輝き	やや強	*Pii*	やや強	やや強	強	中	中
日本晴	やや強	+	中	中	極弱	やや易	中
コシヒカリ	極弱	+	弱	やや弱	強	難	中

表２　品質特性
（育成地　平成12～19年度）

品種名	玄米品質	アミロース含有率(%)	食味(炊飯 30 分以内)		食味(冷飯)	
			外観	総合	外観	総合
みずほの輝き	3.7	21.5	0.78	0.85	1.01	1.26
日本晴	3.6	23.8	0	0	0	0
コシヒカリ	4.9	20.5	0.64	0.72	1.05	1.01

注）玄米品質は、1(上上)～9(下下)の9段階評価。
　アミロース含有率は、平成20、21年度の平均値。
　食味(炊飯30分以内)は、平成21～24年度の6回の試験の平均値。食味(冷飯)は、平成22、24年度の2回の試験の平均値。パネル数は、21～32名。日本晴を基準(0)として、外観、総合とも-5～+5の11段階評価。

２枚目：写真

草　姿
（左：みずほの輝き、中：日本晴、右：祭り晴）

籾及び玄米
（左：みずほの輝き、中：日本晴、右：祭り晴）

圃場での草姿（新潟県上越市）
（左：日本晴、中：みずほの輝き、右：祭り晴）

《農林認定》　　水稲「モグモグあおば」

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター水田作・園芸研究領域

２．来歴
育成期間：平成 11 年～ 20 年　（10 年間）
交 配 親：中国 146 号（ホシアオバ）×西海 203 号（ミズホチカラ）
旧系統名：西海飼 262 号

３．主要特性
・地上部全重及び粗玄米収量が高い多収品種
・稲発酵粗飼料（稲 WCS）及び飼料用米用途に適する
・名称の由来：家畜が喜んでモグモグ食べる様子をイメージ

４．特性概要
（１）生育特性
・出穂期及び黄熟期は「ニシアオバ」と同じ“中生の晩”
・稈長は「ニシアオバ」並の“長”で、穂数は少なく、草型は“極穂重型”
・耐倒伏性は「ニシアオバ」に優る“強”で多肥栽培に向く
・黄熟期に収穫した乾物全重は 1.9t/10a で「ニシアオバ」より 17%多収
・成熟期に収穫した粗玄米重は 724kg/10a で「ニシホマレ」より 30%以上多収
・いもち病真性抵抗性遺伝子型は不明、白葉枯病抵抗性は“中”、縞葉枯病に“抵抗性”、穂発芽性は“やや易”

（２）品質特性
・玄米の粒形は“やや細長”で粒大は“極大”
・玄米千粒重が大きく、玄米品質が劣るため、食用米との識別性を具有

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：九州地域の平坦部及び中山間部
普及見込み：福岡県で奨励品種（飼料作物）に採用。
（普及見込み面積：福岡県、佐賀県、熊本県、大分県、佐賀県を中心に平成24年に推定で 500ha）

６．品種登録出願状況
平成 21 年 5 月 13 日　出願
平成 21 年 7 月 29 日　出願公表
平成 23 年 8 月 9 日　登録

７．予算区分
委託費「粗飼料多給による日本型家畜飼養技術の開発」

系譜図

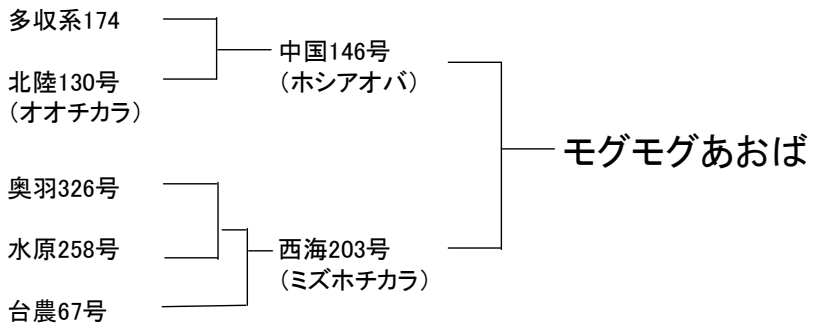


表1 モグモグあおばの生育特性

品種名	栽培条件	出穂期（月日）	黄熟期（月日）	稈長（cm）	耐倒伏性	乾物全重（kg/a）	比率（%）	粗玄米重（kg/a）	比率（%）	TDN収量（t/10a）
モグモグあおば	5月移植	8.17	9.20	104	強	192	117	－	－	1.09
ニシアオバ	黄熟期収穫	8.17	9.20	101	中	164	100	－	－	0.99
モグモグあおば	6月移植	9.05	―	101	強	－	－	72.4	133	－
ニシホマレ	成熟期収穫	9.06	―	96	やや強	－	－	54.2	100	－

（育成地　5月移植：平成16～20年、6月移植：平19～20年）

表2 モグモグあおばの玄米粒形と千粒重

品種名	粒長（mm）	粒幅（mm）	粒厚（mm）	粒長/粒幅	粒長×粒幅	玄米千粒重（g）
モグモグあおば	6.54	3.09	2.28	2.12	20.2	31.1
ニシホマレ	5.22	2.82	1.98	1.85	14.7	21.8

（育成地　平19～20年）

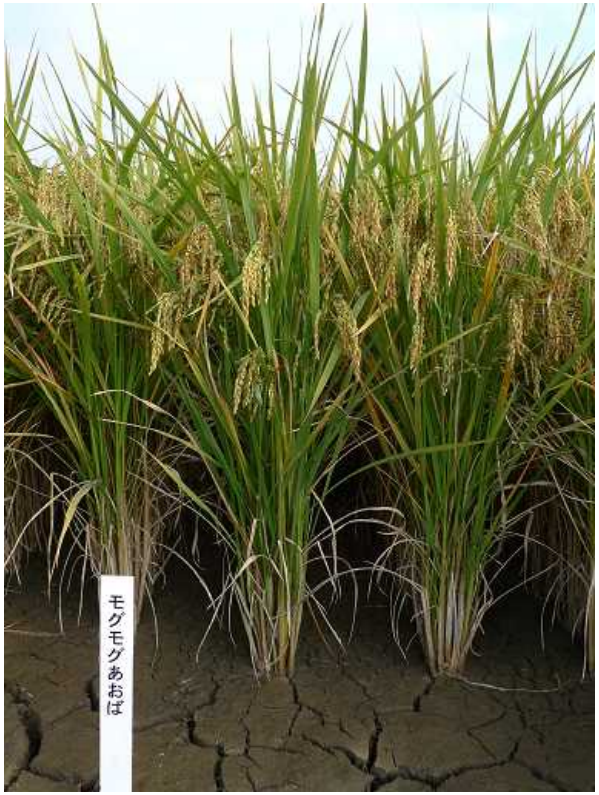
表3 モグモグあおばの玄米外観品質

品種名	総合（1-9）	腹白（0-9）	心白（0-9）	乳白（0-9）	背白（0-9）	基白（0-9）	茶米（0-9）	色沢（2-8）	光沢（2-8）
モグモグあおば	8.6	2.4	4.6	2.0	0.0	0.0	3.6	6.6	3.6
ニシホマレ	6.0	1.4	1.6	1.6	0.0	0.7	0.6	5.0	4.9

注）総合は1(優)～9(劣)、腹白，心白，乳白，背白，基白，茶米は0(無)～9(甚)、
色沢は2(淡)～8(濃)、光沢は光沢は2(小)～8(大)で評価（育成地　平20～24年）

２枚目：写真

草　　姿



籾　及　び　玄　米

（左：「ニシホマレ」、中「モグモグあおば」、右：「ニシアオバ」）

《農林認定》　小麦「ゆめきらり」

１．育成機関
長野県農業試験場　育種部

２．来歴
育成期間：平成 7 年度～ 23 年度（17 年間：播種年度）
交 配 親：F_1（アブクマワセ×ホクシン）
×東山30号（のちのキヌヒメ）
旧系統名：東山 48 号

３．主要特性
・うどん等に適する中間質小麦である。
・コムギ縞萎縮病、コムギ萎縮病抵抗性が優れる。
・「シラネコムギ」より早熟で、穂発芽性に優れる。
・製粉歩留、ミリングスコアが高い。
・きらりかがやく小麦となるよう「ゆめきらり」と命名。

４．特性概要
（１）生育特性（シラネコムギ対比）
・出穂期は 2 日、成熟期は 4 日早く、早熟である。
・稈長はやや長いが、耐倒伏性はほぼ同等である。
・穂発芽性は”やや難”、コムギ縞萎縮病抵抗性及びコムギ萎縮病抵抗性”強”、赤かび病は”中”でいずれも優れる。

（２）品質特性（シラネコムギ対比）
・うどん官能評価は同等である。
・60 %粉の灰分含量、粗蛋白質含量は同等である。
・60 %粉の色相は、赤み（a*）はやや高く、黄色み（b*）はやや低く、粉の白さが特徴である。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：関東・東山～北陸地域～東北南部（ただし多雪地は除く）
普及見込み：長野県（平成 24 年 11 月）で認定品種に採用

６．品種登録出願状況
平成 25 年 1 月 21 日　　出願
平成 25 年 5 月　9 日　出願公表

７．予算区分
農林水産省委託事業（指定試験事業）
農林水産省競争的資金、（実用技術開発事業）
〃　　（農林水産業・食品産業技術推進事業）

系譜図

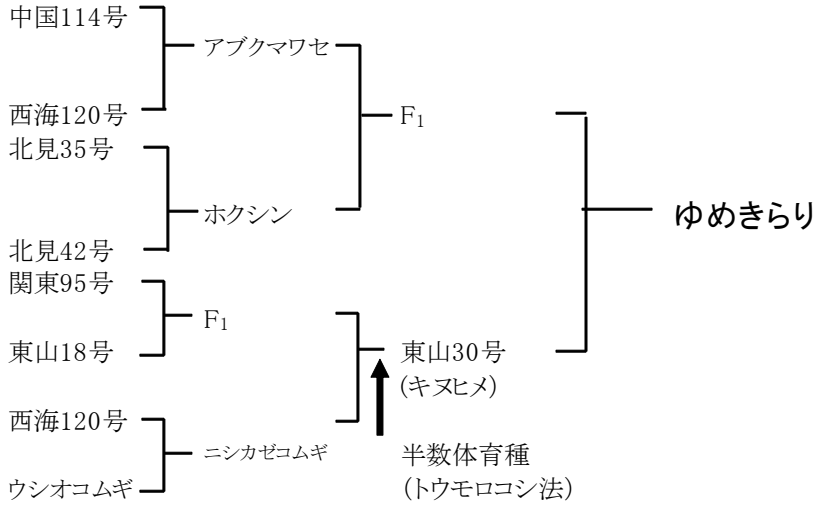


表1　生育特性　（長野県農業試験場　平成17～23年度）

品種名又は系統名	出穂期（月.日）	成熟期（月.日）	稈長（cm）	子実重（kg/a）	耐倒伏性	縞萎縮病抵抗性	萎縮病抵抗性	赤かび病抵抗性
ゆめきらり	5月8日	6月22日	93	73.0	やや強	強	強	中
シラネコムギ	5月10日	6月26日	89	71.8	強	弱	弱	やや弱

表2　品質特性　（長野県農業試験場　平成17～22年度）

品種名又は系統名	60%粉 灰分含量(%)	蛋白質含量(%)	アミロース含量(%)	明るさ L*	赤み a*	黄色み b*	うどん官能評価
ゆめきらり	0.35	9.7	30.7	86.71	−2.29	12.65	66.8
シラネコムギ	0.37	9.7	30.5	86.67	−2.49	13.54	66.9

アミロース含量、粉の明るさ、赤色み、黄色みは17～20年の平均値。うどんの官能検査は長野県製粉協会が20～22年産農試産材料を農林61号（20～21年）及びさとのそら（22年）を標準品として試験。

写真

草　姿

左：「ゆめきらり」、右：「シラネコムギ」）

穂及び子実

（左：「ゆめきらり」、右：「シラネコムギ」）

《農林認定》　　ばれいしょ「リラチップ」

１．育成機関
地方独立行政法人北海道立総合研究機構農業研究本部
北見農業試験場作物育種グループ

２．来歴
育成期間：平成 12 年および平成 14 ～ 24 年　（12 年間）
交 配 親：Andover（導入 1997-1）×北系 7 号
旧系統名：北育 15 号

３．主要特性
・長期貯蔵後のポテトチップ加工適性が優れる。
・「スノーデン」より枯ちょう期が早く、やや多収である。
・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。
・「リラチップ」の名称の由来は、特に収穫翌年の５～６月のポテトチップ品質が優れることから、この時期の北海道の代表的な花であるライラック（フランス語でリラ）とチップを合わせた。

４．特性概要
（１）生育特性
・茎長は「スノーデン」より短い。
・枯ちょう期は「スノーデン」より早い中生である。
・「スノーデン」より規格内いも重がやや多い。
・でん粉価は「スノーデン」より低い。
・ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ。
・塊茎腐敗抵抗性が「スノーデン」より弱い。

（２）品質特性
・長期貯蔵後（収穫翌年）のポテトチップ加工適性が優れる（表 2）。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北海道の加工用（ポテトチップ用）ばれいしょ栽培地帯
普及見込み：北海道で優良品種に採用（普及見込み面積 500ha）

６．品種登録出願状況
平成 25 年 7 月 11 日　出願
平成 25 年 11 月 22 日　出願公表

７．予算区分
新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「周年安定供給を可能とする食品加工用バレイショ品種の育成と栽培法の確立」

系譜図

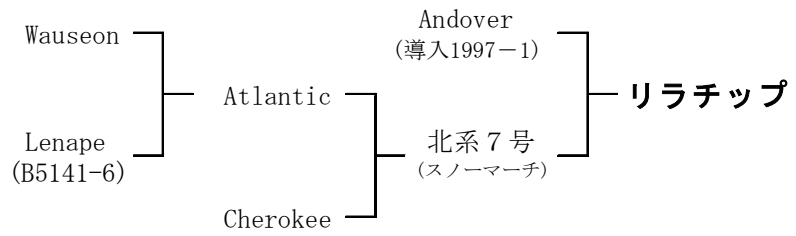


表１　生育特性（育成地、平成20～24年度）

品種名	終花期の茎長 (cm)	枯ちょう期 (月/日)	上いも数 (個/株)	上いもの平均重(g)	規格内いも重 (kg/10a)	スノーデン比 (%)	でん粉価 (%)
リラチップ	**74**	**9/16　(中生)**	**10.7**	**102**	**4,343**	**104**	**14.2**
スノーデン	93	10/ 5　(中晩生)	10.0	104	4,196	100	14.9
トヨシロ	75	9/ 6　(中早生)	9.1	122	4,256	101	15.6

品種名	病害虫抵抗性			塊茎の特性					
	ジャガイモシストセンチュウ	そうか病	塊茎腐敗	形	目の深さ	肉色	褐色心腐	中心空洞	二次成長
リラチップ	**強(*H1*)**	**中**	**やや弱**	**卵**	**浅**	**白**	**微**	**微**	**極微**
スノーデン	弱(*h*)	やや強～中	強	円	中	白	極微	微	極微
トヨシロ	弱(*h*)	弱	やや弱	卵	浅	白	微	少	微

表２　品質特性（ばれいしょ加工適性研究会）

試験担当メーカー	試験時期	リラチップ アグトロン値	外観	総合評価	備考（対照品種）
カルビー・カルビーポテト	平成23年 5月	52～53	◎	○	スノーデン
	平成24年 5月	46	□	□	きたひめ
北海道フーズ	平成23年 6月	45	○	○	きたひめ
	平成24年 7月	47	○	○	きたひめ

注１）供試材料は、それぞれの試験において前年産である。
２）アグロトン値はポテトチップカラーの指標で、値が40以上で大きいほど望ましい。
３）外観（色むらなど）および総合評価は、対照品種との比較において判定した。
◎：良、○：やや良、□：中、△：やや不良、×：不良。

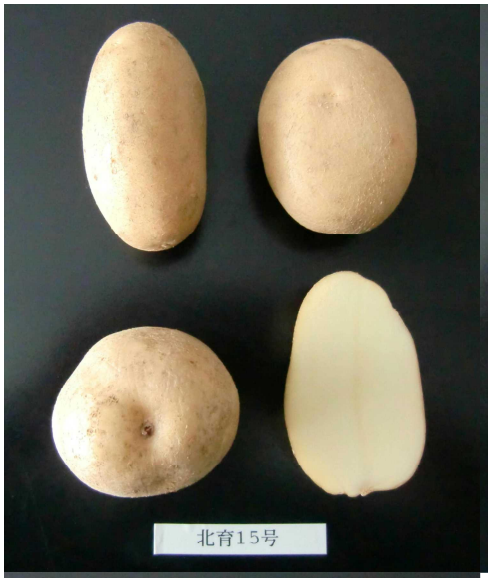
草　　姿

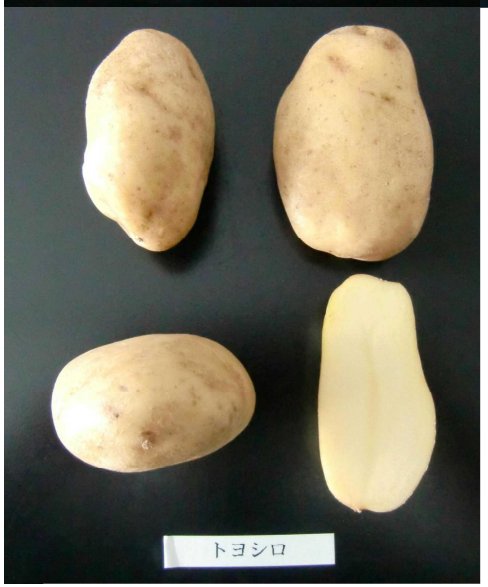
上段左：「リラチップ」
（北育 15 号）

上段右：「スノーデン」

下段　：「トヨシロ」

塊　　茎





上段左：「リラチップ」
（北育 15 号）

上段右：「スノーデン」

下段　：「トヨシロ」

《農林認定》　　そば「長野 S8 号」

１．育成機関

長野県野菜花き試験場

２．来歴

育成期間：平成 14 年～23 年（10 年間）
交配親：関東１号×信濃１号
旧系統名：桔梗８号

３．主要特性

・丸抜きとそば粉の色は「信濃１号」より緑色が濃い。
・そば切りの食味官能評価は「信濃１号」より優れ、特に色の評価に優れる。
・品種名称の由来は、長野県で育成されたソバ(ローマ字の頭文字 S)で、旧系統名が桔梗８号であることから。

４．特性概要

（１）生育特性

・生態型は「信濃１号」と同じ“中間秋型”で、開花期、開花最盛期は「信濃１号」より２日、成熟期は３日遅い。
・子実重は「信濃１号」とほぼ同等で、千粒重は２割ほど重く、容積重もやや重い。
・耐倒伏性は「信濃１号」と同等である。

（２）品質特性

・果皮率は「信濃１号」と同等、製粉歩留も同等である。

５．栽培適地及び普及見込み先

適地：標高 1,200m を超える高標高地帯を除く長野県全域
普及見込み：長野県で認定品種に採用
（普及見込み面積 200ha）

６．品種登録出願状況

平成 24 年 8 月 28 日出願
平成 24 年 11 月 8 日出願公表

７．予算区分

指定試験：温暖地,中部高冷地向け高品質,安定多収,機械化適性そば品種の育成

系譜図

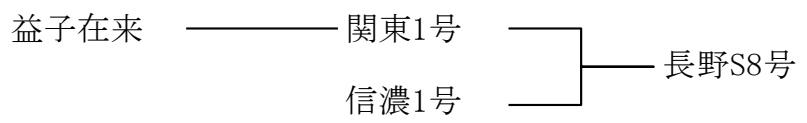


表１　生態・形態・収量特性（育成地）

品種名	播種期（月/日）	開花最盛期（月/日）	成熟期（月/日）	生育期間（日）	草丈（cm）	１次分枝数（本）	花房数合計（個）	子実重（kg/a）	容積重（g）	千粒重（g）	立毛数（本/㎡）	倒伏程度（6段階）（0:無-5:甚）
長野S8号	8/5	9/13	10/14	70	118	3.0	22.7	18.0	607	36.8	118	2.5
信濃1号	8/5	9/11	10/11	67	110	3.0	24.0	18.7	593	30.7	131	2.8

注1）平成19～24年の平均

表２　果皮率と丸抜き及びそば粉の色調（育成地）

品種名	果皮率（%）	丸抜き L*（-:暗～明:+）	丸抜き a*（-:緑～赤:+）	丸抜き b*（-:青～黄:+）	そば粉 L*（-:暗～明:+）	そば粉 a*（-:緑～赤:+）	そば粉 b*（-:青～黄:+）
長野S8号	22.2	63.73	-3.27	20.26	89.07	-0.90	7.76
信濃1号	22.3	65.29	-1.02	20.64	88.88	-0.35	8.10

注1）　果皮率：果皮重/玄ソバ重　注2）平成19～24年の平均値

表３　食味官能審査結果（育成地：平成 20～22 年産）

	色	香り	味	食感 かたさ	食感 そばらしさ	合計
採点基準	8～20	8～20	8～20	8～20	8～20	40～100
長野S8号	17.1 ***	15.5 **	15.2 n.s.	15.0 n.s.	15.1 n.s.	77.9 *
信濃1号	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0	70.0

注1)日本蕎麦協会官能審査表(1989)による
2)製麺法　そば粉100%　20,22年は食総研式そば打ちキット使用、21年は手打ち。
3)**,***が付与された項目は**は1%、***は0.1%水準で有意差が認められ、n.s.は有意差が認められなかった。

２枚目：写真

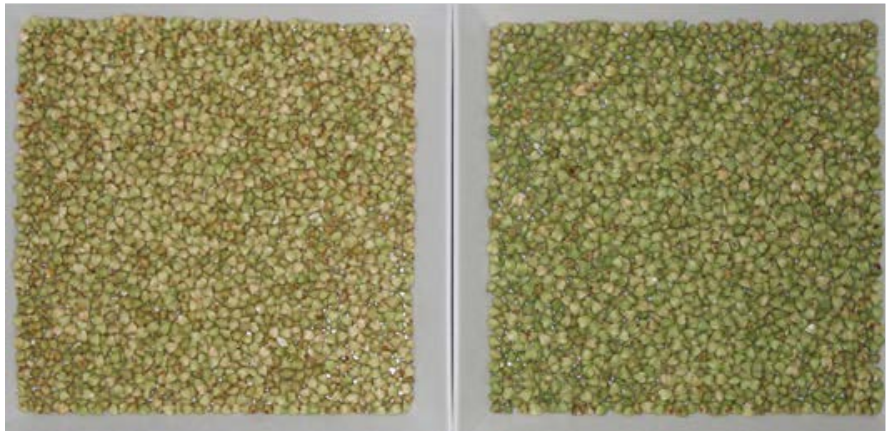
草　姿

（左：「信濃１号」、右：「長野 S8 号」）

子　実

（左：「信濃１号」、右：「長野 S8 号」）

丸抜き子実



（左：「信濃１号」、右：「長野 S8 号」）

茹で麺

（左：「信濃１号」、右：「長野 S8 号」）

《農林認定》　てんさい「アマホマレ」

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
北海道農業研究センター畑作研究領域

２．来歴
育成期間：平成16年～21年　（6年間）
交 配 親：JMS59×PKS5335
旧系統名：北海98号

３．主要特性
・根中糖分が高く、製糖品質が優れる。
・製糖原料用である。
・「アマホマレ」の名称の由来は、甘い（高糖性）というニュアンスと「モノホマレ」のように広く普及してほしいことを表現したものである。

４．特性概要
（１）生育特性
・根中糖分が「クローナ」、「えとぴりか」、「レミエル」と比べて高い。
・糖量は「クローナ」、「レミエル」並である。
・褐斑病抵抗性が「中」と他の3品種と比べて優れる。

（２）品質特性
・不純物価が「えとぴりか」並みに低く、製糖品質が優れる。
・修正糖分は他の3品種と比べて高い。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：北海道一円
普及見込み：北海道で優良品種に採用
（普及見込み面積　500ha）

６．品種登録出願状況
平成23年6月21日　出願
平成23年10月7日　出願公表
平成25年3月14日　登録

７．予算区分
運営費交付金

系譜図

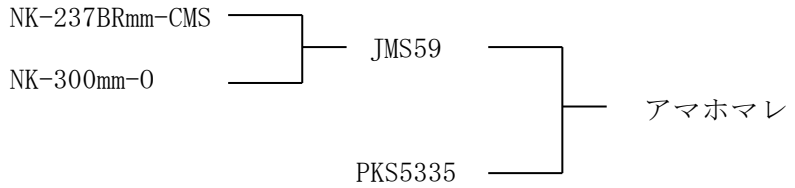


表1　生育特性　（北海道内5場所 1)　平成19～21年）

品種名	根重 (t/10a)	根中糖分 (%)	糖量 (kg/10a)	病害抵抗性 褐斑病	根腐病	黒根病	そう根病 2)	抽苔耐性
アマホマレ	7.15	18.20	1,298	中	弱	中	弱	強
クローナ	7.24	17.61	1,273	弱	弱	中	－	強
えとぴりか	6.99	17.47	1,220	弱	弱	中	－	強
レミエル	7.51	17.61	1,320	弱	やや弱	中	－	強

1)　試験地は北海道農研(芽室町)、北見農試(訓子府町)、日甜(帯広市)、北糖(本別町)、ホクレン(大空町)である。
2)「クローナ」、「えとぴりか」、「レミエル」はそう根病抵抗性を持たないため試験に供試していない。

表2　品質特性　（北海道内5場所 1)　平成19～21年）

品種名	不純物価 (t/10a)	修正糖分 (%)	修正糖量 (kg/10a)	有害性非糖分 (meq/100g) アミノ態窒素	カリウム	ナトリウム
アマホマレ	3.44	16.39	1,168	1.67	3.67	0.32
クローナ	4.00	15.57	1,124	1.79	4.19	0.44
えとぴりか	3.61	15.62	1,090	1.65	3.62	0.46
レミエル	3.78	15.71	1,177	1.81	3.88	0.38

1)　試験地は北海道農研(芽室町)、北見農試(訓子府町)、日甜(帯広市)、北糖(本別町)、ホクレン(大空町)である。

２枚目：写真

「アマホマレ」の根部形態

「アマホマレ」

「カブトマル」（比較品種）

（平成20年10月14日撮影）

「アマホマレ」の草姿

「アマホマレ」

「カブトマル」（比較品種）

（平成20年8月6日撮影）

《農林認定》　　さとうきび「KTn03-54」

１．育成機関
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構
九州沖縄農業研究センター 作物開発・利用研究領域

２．来歴
育成期間：平成 14 年～ 24 年（11 年間）
交 配 親：ROC14 × CP57-614
旧系統名：KTn03-54

３．主要特性
・甘蔗糖度、純糖率が高く、可製糖量が多い。
・太茎で一茎重が大きい。
・脱葉性が良く、作業性に優れる。
・早期高糖で早期収穫に適する。

４．特性概要
（１）生育特性
・「NiF8」よりも太茎で一茎重が大きい。
・「NiF8」よりも春植えの原料茎重が大きい。
・株出しでは茎数が少なく、「NiF8」より原料茎重がやや少ない。
・「NiF8」よりモザイク病に弱い。

（２）品質特性
・「NiF8」よりも甘蔗糖度、純糖率が高い。
・「NiF8」よりも可製糖率が高く、可製糖量が多い。

５．栽培適地及び普及見込み先
適地：熊毛地域
普及見込み：鹿児島県で奨励品種に採用（普及見込み面積　300ha）

６．品種登録出願状況
平成 25 年 5 月 29 日　出願
平成 25 年 8 月 30 日　出願公表

７．予算区分
農研機構運営費交付金、農林水産省委託事業（実用技術開発事業「サトウキビの収穫早期化に向けた優良品種育成と新しい栽培体系の構築」）。

系譜図

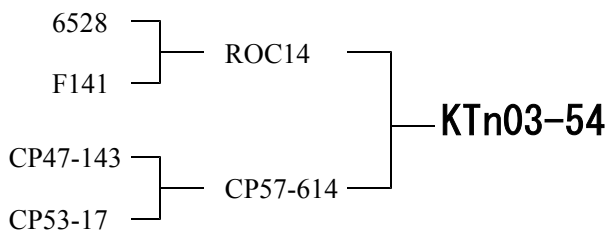


表１　生育特性
（育成地 春植え：H19-23 年度、株出し：H20-23 年度）

品種名又は系統名	茎数（本/a）	茎長（cm）	茎径（mm）	一茎重（g）	原料茎重（kg/a）	脱葉性	モザイク病抵抗性
春植え							
KTn03-54	759	255	25.1	1159	868	易	弱
NiF8	786	246	23.1	973	757	易	強
Ni22	779	247	21.9	869	673	中	やや強
株出し							
KTn03-54	783	256	24.3	1051	820	－	－
NiF8	1068	241	22.6	807	861	－	－
Ni22	1018	268	21.0	840	856	－	－

表２　品質特性
（育成地 春植え：H19-23 年度、株出し：H20-23 年度）

品種名又は系統名	蔗汁糖度（%）	純糖率（%）	甘蔗糖度（%）	繊維分（%）	可製糖率（%）	可製糖量（kg/a）
春植え						
KTn03-54	15.8	87.7	12.9	11.7	12.1	105
NiF8	14.3	83.4	11.8	11.2	10.6	80
Ni22	16.6	87.6	13.4	12.8	12.5	84
株出し						
KTn03-54	16.0	87.6	13.1	11.3	12.2	101
NiF8	15.2	84.7	12.5	11.3	11.4	99
Ni22	16.5	87.7	13.2	13.5	12.3	105

２枚目：写真

草　　姿

（左：「NiF8」、中央「KTn03-54」右：「Ni22」）

原　料　茎

（左：「NiF8」、右：「KTn03-54」）